

# 令和元年度 静岡県農地利用最適化推進活動表彰事業

本事業では、農地利用の最適化を推進するため、他地域の模範として波及効果が期待できる耕作放棄地の再生活動及び農地集積・集約化の推進活動等に取り組む組織・個人を表彰する。

本年度は、「耕作放棄地再生部門」及び「農地集積・集約化部門」の2部門の取組を募集したところ10点の応募があり、令和元年12月に関係機関の審査員による審査を行い、受賞者を決定した。

## 1 表彰事業の概要

(1) 名 称 令和元年度静岡県農地利用最適化推進活動表彰事業

(2) 主 催 静岡県、静岡県農業再生協議会

(3) 後 援 一般社団法人静岡県農業会議、静岡県農業協同組合中央会  
公益社団法人静岡県農業振興公社、静岡県土地改良事業団体連合会

(4) 応募対象

地域の農地利用の最適化活動に積極的に取り組んでいる次の組織又は個人を対象とする。

ア 募集部門

- ・耕作放棄地再生部門
- ・農地集積・集約化部門

イ 募集対象者

- ・推進組織・推進者：地域耕作放棄地対策協議会、農業委員会、農業協同組合、土地改良区、ふじのくに美農里プロジェクトの活動組織、農業委員、農地利用最適化推進委員等
- ・農業者・営農組織：農業者、農業法人、農業参入企業、NPO法人等

(5) 受賞者の選定方法

ア 応募希望者は応募要領により、申込書を主たる活動地を所管する農林事務所に提出する。

なお、県下全域にて取組を行っている団体等の場合は、申込書を静岡県経済産業部農業ビジネス課（以下、「農業ビジネス課」という。）に提出する。

イ 各農林事務所は、申込者の取組状況について取組状況報告書を作成の上、申込書に添付して農業ビジネス課あて提出する。

ウ 農業ビジネス課長は審査会を開催し、互選により表彰対象を選定する。

(6) 表彰区分

ア 最優秀賞 2点（各部門1点）

イ 優秀賞 4点以内（各部門2点以内）

ウ 優良賞 6点以内（各部門3点以内）

## 2 受賞者一覧

### (1) 耕作放棄地再生部門

賞	所在地	受賞者名
最優秀賞	三島市	前島 勲 (まえじま いさお)
優秀賞	富士宮市	天子ヶ岳の郷保存の会 (てんしがたけのさとほぞんのかい)
	浜松市	特定非営利活動法人ひずるしい鎮玉 (しずたま)
静岡県農業 会議会長賞	河津町	土屋 常平 (つちや つねへい)
静岡県農業振興 公社理事長賞	掛川市	株式会社まるやま農場

### (2) 農地集積・集約化部門

賞	所在地	受賞者名
最優秀賞	森町	一宮地区農業推進委員会 (いちみやちくのうぎょうすいしんいんかい)
優秀賞	川根本町	農事組合法人川根美味しいたけ (かわねおいしいたけ)
	浜松市	雄踏町水田営農組合、とぴあ浜松農業協同組合西営農センター
静岡県農業 会議会長賞	富士市	富士市農政課
静岡県農業振興 公社理事長賞	御殿場市	楽天農業株式会社 (令和2年1月1日(株)テレファームから社名変更)

## 3 審査講評

応募総数は「耕作放棄地再生部門」5点と「農地集積・集約化部門」5点の計10点で、活動の状況、活動の成果、地域活性化又は経営への寄与、活動の波及効果・継続性・発展性について審査を行った。

耕作放棄地再生部門では継続的な再生活動や再生地の有効活用、農地集積・集約化部門では地域の合意形成に向けた活発な協議や基盤整備と一体化した集積・集約化の実現等、持続的な地域の発展に期待ができる活動が多く見られた。特に、上位入賞者は、規模拡大により地域の活性化に繋がった点や、担い手の意向を主体とした農地集約や基盤整備の実現により今後の地域農業の発展が大いに期待される点が、他の模範となる優良事例として審査員から高く評価された。

今回の優良事例を参考に、農地利用の最適化活動がより一層盛んになることを期待する。



最優秀賞

## 自作地近隣の耕作放棄地を継続的に再生、地域の雇用創出に貢献 前島 勲（三島市）

### 1 農業者の概要

- 前島氏は、三島市の4.2haの畑で小松菜、ホウレンソウを基幹作物とした野菜の多品目栽培に取り組む。
- 三島市の特産物である箱根西麓三島野菜を栽培しており、地域ブランドの活性化に貢献している。

項目	内容
実施地区	三島市
耕作放棄地再生面積	3.1ha

### 2 取組の契機・経緯

- 後継者の就農を機に「儲かる農業」を実現するため、継続的に耕作放棄地を再生し経営規模を拡大した。
- 自作地を中心に農地を集約することで、生産活動の効率化や生産性の向上を図った。
- 栽培品目や生産体系を見直しながら規模拡大することで、通年雇用の安定化や労働環境の改善を実現した。



写真奥のハウスが建つ所有地から隣接農地を再生・集積し、儲かる畑を整備

### 3 取組の実績

- これまでに再生した耕作放棄地3.1haは、経営面積の約7割を占める。
- 地域の労働力を積極的に活用することで、地域住民の労働機会の増加に寄与している。
- 福祉施設と連携した障害者の臨時雇用、引きこもりの人に農作業を通じて社会復帰の機会を提供する等、農福連携にも積極的に取り組んでいる。

### 4 話題性

- 三島市学校給食研究会に参加し、市内の小学校1校と中学校2校に野菜を提供するとともに、野菜の出前授業や食育交流活動を複数市町で実施している。
- 後継者は県青年農業士であり、次世代の農業を担うリーダーとして期待される。また、JA三島函南の部会「箱根西麓のうみんず」の主力メンバーで、産地活性化の取組にも積極的であり、持続的な農業の確立が期待される。



## 自治会等が農地を再生、子ども達の学ぶ場として提供

### 天子ヶ岳の郷保存の会（富士宮市）

#### 1 組織の概要

- 天子ヶ岳の郷保存の会は、富士宮市の地元自治会等の約 100 人で構成され、大学生と連携し、地域の耕作放棄地再生や農地保全に取り組んでいる。
- 地域の子供達や日本大学生物資源科学部の学生達と共に農作業体験や栽培実習に取り組み、農業を通じて学ぶ場を提供している。

項目	内容
実施地区	富士宮市
耕作放棄地再生面積	1. 3ha

#### 2 再生に向けた活動状況

- 高齢化や担い手不足による耕作放棄地の発生が懸念されることから、地域住民が主体的に当会を設立し、地域の耕作放棄地ゼロを目指して取り組んでいる。
- 学生達は、再生した農地の生産物を利用し、オリジナル焼酎などの商品開発を行っている。



会員と学生による甘藷の栽培管理



## 耕作放棄水田を、田んぼのオーナー制度で有効活用

### 特定非営利活動法人ひずるしい鎮玉（浜松市）

#### 1 組織の概要

- ひずるしい鎮玉は美しい景観を守るため、川、農、里の3事業を柱とした「田舎ゆったりプロジェクト」を立ち上げ、様々な活動をしている。

項目	内容
実施地区	浜松市
耕作放棄地再生面積	1. 6ha

#### 2 再生に向けた活動状況

- 耕作放棄水田を再生し、平成 27 年春から「田んぼのオーナー制度」を開始し、毎年度県内外から大勢のサポーターが田植えや収穫祭に参加する、大イベントとなっている。
- 5年間で市内外の延べ2,000人がオーナーとして参加し、家族連れの参加者も多く、都市農村交流による地域活性化に寄与している。



田んぼのオーナーによる田植えの様子



## 中山間地域の耕作放棄地を再生し、柑橘の産地振興に貢献

土屋 常平（河津町）

### 1 農業者の概要

- 土屋氏が区長を務める河津町見高地区を中心に、キウイフルーツや柑橘を栽培している。
- 後継者への経営継承に向けて、老木の改植やスピードスプレーヤーの導入に取り組み、経営の安定化を図っている。

項目	内容
実施地区	河津町
耕作放棄地再生面積	0.6ha

### 2 再生に向けた活動状況

- 耕作放棄地の増加やそれに伴う鳥獣被害の防止のため、耕作放棄地緊急解消促進事業を活用し、規模拡大の難しい中山間地域の樹園地で0.6haの耕作放棄地を再生した。
- 併せて、農地集積・集約化や園地の改良にも取り組み、地域の先進的経営モデルとして期待される。



再生農地でのニューサマーオレンジ栽培



## 農業に参入し耕作放棄地を解消、地域に貢献

株式会社まるやま農場（掛川市）

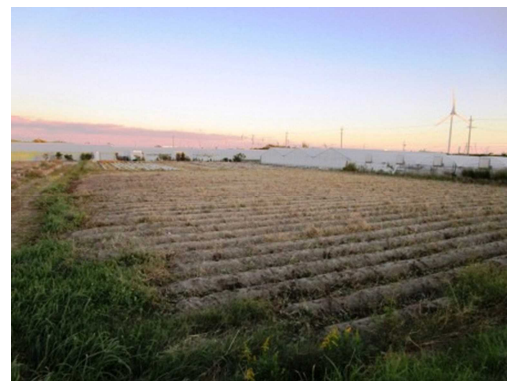
### 1 法人の概要

- 丸山製茶株式会社は茶卸販売業を営んでいたが、耕作放棄地を再生したいとの思いから平成23年に株式会社まるやま農場を設立し、農業生産を開始した。
- 甘藷と葉ネギから始めて成果を上げながら規模拡大し、茶とイチゴの生産も取り入れて、現在12.1haを栽培している。

項目	内容
実施地区	掛川市
耕作放棄地再生面積	1.6ha

### 2 再生に向けた活動状況

- 耕作放棄地緊急解消促進事業を活用し、耕作放棄地を1.6ha再生した。
- 地域外からの参入であったため、農地の確保に苦労したが、生産実績を積み重ねることで地域の信用を獲得した。
- 後継者不在の農地を引き受けて規模拡大することにより、耕作放棄地の発生防止に寄与した。



再生した畑で甘藷を栽培



## 水田の基盤整備と集積・集約化を一体的に推進

一宮地区農業推進委員会（森町）

### 1 組織の概要

- 一宮地区農業推進委員会は、地域の水田を将来にわたり守っていくため、基盤整備と農地集積・集約化を地域ぐるみで一体的に推進することを目的として、平成28年度に設立された。
- 人・農地プランの策定により地域の方針を定め、基盤整備と農地集積・集約化を一体的に推進した。

項目	内容
実施地区	森町
栽培作物	水稻
農地中間管理事業活用面積	65.0ha

### 2 取組の契機・経緯

- パイプライン・暗渠排水の再整備が必要な時期を迎え、基盤整備事業の円滑な実施と将来の担い手を検討していくため、耕作者、地権者、農業委員等を構成員として、委員会が設立された。
- 委員会が中心となり、人・農地プランの策定（中心経営体の決定と集積・集約化の方針）、賃料統一化と農地中間管理事業の活用、基盤整備事業の実施について、地域の合意を得た。
- 話し合いを重ね、分散していた担い手耕作地の集積・集約化を進めるとともに、地域担い手ではカバーできない農地について地域外の担い手への斡旋を行った。



農地集積・集約化後の耕作者状況

### 3 取組の実績

- 地域ぐるみで農地の利用調整を行い、地域の水田面積の約8割である65haの水田が、農地バンクを通じて担い手に集積・集約化された。
- 機構集積協力金が交付され、基盤整備事業の地元負担が軽減した。
- 暗渠排水整備については、フォアス型（地下水位制御システム）を設置することとし、水田汎用化による地域農業の活性化が見込まれている。

### 4 話題性

- 地元説明会や人・農地プランの地域の話し合いには毎回100人近くが出席しており、農地利用最適化に対する地域の高い関心が伺える。



## 茶園を集積し、川根茶の維持・発展に貢献

### 農事組合法人川根美味しいたけ（川根本町）

#### 1 法人の概要

- 農事組合法人川根美味しいたけは 9.0ha の茶と、茶業農閑期の補完作物として 1.5ha のしいたけを栽培し、複合経営を確立している。
- 顧客の要望に応じた多様な荒茶生産が可能で顧客数が多く、一部海外でも取引されている。

項目	内容
実施地区	川根本町
農地中間管理事業活用面積	7.1ha

#### 2 集積に向けた活動状況

- 農地中間管理機構関連農地整備事業を活用し、規模拡大の難しい中山間地域で、大規模な茶園の集積・集約化を進め、下泉原地区では地区の茶園の約 7 割（5ha）を集積・集約化した。
- 担い手不足や高齢化により後継者が不在となる茶園を引き受け、川根茶の産地の維持・発展を図っている。



川根美味しいたけ茶業部の方々



## 地域で合意形成を図り、持続的な水田農業を維持

### 雄踏町水田営農組合

### とぴあ浜松農業協同組合西営農センター（浜松市）

#### 1 推進組織の概要

- 雄踏町水田営農組合及びとぴあ浜松農業協同組合西営農センターは、米価下落の危機に対応するコスト削減を目的とし、平成 14 年から水田の集積を推進した。
- 地域での合意形成により、地区の水田の約 5 割（46ha）を、2 人の大規模農家へ集約する方針を定め、併せて畦畔撤去による大区画化を進めている。

項目	内容
実施地区	浜松市
農地中間管理事業活用面積	46.3ha

#### 2 集積に向けた活動状況

- かつて、農地保有合理化事業や農地利用集積円滑化事業を積極的に推進してきた。
- 平成 28 年度には、円滑化事業で貸借していた 38ha の水田について、議論を重ね、農地バンクの貸借契約への一括切替を行った。



地域の話合いの様子



## 農地集積により地域の課題解決を促進

富士市農政課（富士市）

### 1 推進組織の概要

- 富士市農政課は、平成 27 年から農地中間管理事業を活用した農地集積を進めるため、富士市農業委員会、富士市農業協同組合、県農業振興公社と連携し活動してきた。

### 2 集積に向けた活動状況

- 水田パイプラインの老朽化が問題となっていた富士東部地区において、農地集積の推進により農業競争力強化基盤整備事業の実施に至った。
- 浮島・須津地区においても、基盤整備事業と併せた農地集積を図っていく。

項目	内容
実施地区	富士市
農地中間管理事業活用面積	242.0ha



浮島地区担い手部会での集積の検討



## 野菜生産と加工販売を一貫経営し、雇用創出に貢献

楽天農業株式会社（御殿場市）

### 1 法人の概要

- 楽天農業株式会社は、地域の雇用創出を目的として農業分野に着目し、有機露地野菜の生産から加工、販売までを一貫して行う経営を確立している。
- 本社である愛媛県で10ha、広島県で4ha栽培しており、本県には平成30年に参入し、御殿場市を中心に26haを集積した。

### 2 集積に向けた活動状況

- 経営面積の全てが耕作放棄地再生によるものであり、かつ、全て農地バンクを活用している。
- 今後も首都圏に近い利点を生かし、本県を中心に農地集積を進めていく。
- 令和2年4月から再生した農地への作付けを開始、併せて同年6月には野菜カット工場が稼働予定である。

項目	内容
実施地区	御殿場市ほか
農地中間管理事業活用面積	26.0ha



集積した農地を野菜園場へ再生